

# 公衆衛生看護管理論

単位数（時間数）：2 単位（30 時間） 必修/選択：選択 履修年次：4 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：教授・鈴木るり子

科目担当者（職位・氏名）：講師・松岡真紀子、助教・石田知世、助教・磯島実奈

---

対応DP：人間力 ケア・スピリット 人間の実践的理解 専門的知識・技術とその臨床実践  
多職種連携・チームワーク アドボカシー

科目記号：91

## ■ 授業概要

保健師として質の高いサービスを提供するために、公衆衛生看護管理の概念と機能及び地域アセスメント（地域診断）の必要性と方法、諸理論の特徴について教授し、さらに人的資源・物的資源・経済的資源等の管理能力やリーダーシップ、地域ケアシステムづくり等について総合的な知識を修得できるよう教授する。

## ■ 到達目標

1. 公衆衛生看護管理の特徴、定義・目的・意義について理解し、説明できる。
2. 公衆衛生看護管理の仕組み、運営管理、人事管理、予算・業務管理の方法について理解し、説明できる。
3. 地域アセスメント（地域診断）理論、目的・意義・方法を理解し、説明できる。
4. 公衆衛生看護活動の計画・実施・評価のPDCAサイクルを理解し、説明できる。
5. 健康危機管理の定義・目的・意義・方法について理解し、説明できる。

## ■ キーワード

公衆衛生看護管理、地域アセスメント（地域診断）、地区踏査、コミュニティ・アズ・パートナーモデル、プリシード・プロシードモデル、PDCA サイクル、健康危機管理

## ■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	地域アセスメントの展開①	科目オリエンテーション 地域アセスメントの定義、過程 活用できるモデル コミュニティ・アズ・パートナーモデル プリシード・プロシードモデル 地区踏査 PDCA サイクル	鈴木 石田
2	地域アセスメントの展開②	データ収集源とデータ分析の方法 データ分析から健康課題の抽出方法	石田
3	地域アセスメントの実際①	演習：指定の地域についてアセスメントし 健康課題を抽出する 指定の地域の地区踏査計画を立て る	共同
4	地域アセスメントの実際②	演習：指定の地域の地区踏査を実施する	共同
5	地域アセスメントの実際③	演習：実際①②の情報を統合し、健康課題 を明確化する。	共同
6	公衆衛生看護活動の計画・実践・評価・事業化・ 施策化①	地域アセスメントから導き出された健康 課題に対する公衆衛生看護活動の事業化・ 施策化、及びその計画・実践・評価の方法	鈴木
7	公衆衛生看護活動の計画・実践・評価・事業化・ 施策化②	同上	磯島
8	公衆衛生看護活動の事業化と施策化の実践①	演習：指定の地域の健康課題に対する公衆 衛生看護活動の事業化・施策化、及 びその計画・実践・評価を立案する	共同
9	公衆衛生看護活動の事業化と施策化の実践②	演習：同上	共同
10	公衆衛生看護管理の基本①	公衆衛生看護管理の目的、機能 組織運営と管理	鈴木
11	公衆衛生看護管理の基本②	人事管理と人材育成、予算管理、情報管理、 業務管理	鈴木

12	健康危機管理の基本	健康危機管理の定義、保健師の役割機能	松岡
13	健康危機管理—災害、感染症	災害支援の平常時、災害応急対応期、災害復旧・復興対策期における保健活動、感染症の平常時、発生時における保健活動	鈴木
14	公衆衛生看護のツールとしての ICT  公衆衛生看護学における研究	公衆衛生看護と ICT 公衆衛生看護における ICT の活用  公衆衛生看護学における研究課題 公衆衛生看護の特徴を反映した研究デザインや手法 公衆衛生看護学の研究を読む	石田
15	公衆衛生看護における倫理	演習 2つのグループに分かれ検討 ① 法・制度と人権の狭間 ② 保健医療福祉の地域格差	共同

## ■ 履修条件

地域看護学概論、地域看護援助論の単位を取得していること。

## ■ 成績評価方法

期末試験 70%、演習 30%

## ■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・希望者に対して、試験のフィードバックを行う。希望者は、事前にアポイントを取ったうえで、科目責任者の研究室を訪ねること。

## ■ 教科書

- ・標美奈子他著（2022）『標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論 第6版』医学書院
- ・中村裕美子他著（2023）『標準保健師講座 2 公衆衛生看護技術 第5版』医学書院
- ・中谷芳美他著（2024）『標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動 第5版』医学書院
- ・藤内修二著（2021）『標準保健師講座 別巻 1 保健医療福祉行政論 第5版』医学書院
- ・牧本清子他著（2015）『標準保健師講座 別巻 2 疫学・保健統計学 第3版』医学書院
- ・井伊久美子他編（2024）『新版 保健師業務要覧 第4版 2024年版』日本看護協会出版会
- ・厚生労働統計協会編（2023）『国民衛生の動向 2023/2024』厚生労働統計協会

## ■ 参考書・参考資料等

- ・村嶋幸代他編（2022）『保健学講座 1 公衆衛生看護学概論』メヂカルフレンド社
- ・佐伯和子編著（2018）『地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第2版 地区活動ならびに施策化のアセスメント・活動計画・評価計画の立案』医歯薬出版
- ・金川克子他編（2011）『地域看護診断 第2版』東京大学出版会
- ・清水哲郎著（2022）『医療・ケア従事者のための哲学・倫理学・死生学』医学書院

## ■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・事前学修：シラバス該当箇所のテキストおよび参考資料を読了しておくこと。
  - ・事後学修：配布資料を確認し、理解に努めること。
- 事前・事後学修は、それぞれ 90 分程度行うこと。

## ■ 担当教員からのメッセージ

公衆衛生看護管理の内容は多岐にわたっており、探求すればするほど奥深いものです。一緒に公衆衛生看護管理を極めていきましょう。

## ■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

研究室 12、rsuzuki★iwate-uhms.ac.jp、授業日の 16:30～18:00 まで。

(※メールの際は★を@にしてください)

## ■ 担当教員の実務経験の有無

有

## ■ 担当教員の実務経験

保健師・研究職

## ■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

## ■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

## ■ 実務経験を活かした教育内容

保健師の実務経験を活かして、専門的かつ実践的な講義をしています。